

ベアリング

軸受け(ベアリング)は自動車や産業機械、ロボットなど、さまざまな分野で使われる。可動部には欠かせない部品ということもあり、南大阪地域でも堺市を中心に地場産業として発展してきた。この地域では大手に負けない独自技術を生かした製品づくりが根付いており、高品質製品を供給し続けている。

ベアリングの国内生産は大正後期から昭和初期にかけて基盤が確立されたという。南大阪地域にベアリングメーカーが多く立地したのは、古くから鍛冶技術に優れていたという歴史的な背景があったためだ。さらに堺の代表的な産業である自転車の生産で大きな需要があったことも産業の発展につながった。

堺には中堅ベアリングメーカーが多く集まり、独自技術の創造、展開で高品質製品の供給に努めている。独自性も豊かで、ベアリングとハウジングと呼ばれる固定用金属金具を組み合わせた軸受ユニット「ピロブロック」は、堺の企業がいち早く製造販売に着手した。ピロブロックは今も機械設備全般に広く利用されており、堺のメーカーが国内市場をけん引している。

刃物

包丁やはさみなどの刃物も堺の伝統産業として業界団体や自治体が普及に力を入れている。軟鉄と刃になる鋼を接着した母材から打つ独自製法の「堺打刃物(さかいうちばもの)」。片刃で研ぎやすく、鋼部分が生きていれば、20年は使えるという。現在も職人が1本ごとに手作りで仕上げ、柄には経済産業大臣指定伝統的工芸品であることを示す「伝統マーク」のシールが貼られている。

堺打刃物は旬の食材に合わせ、数100種類あるという。ただ和包丁は、外食産業の変革により洋包丁に取って代わられてきた。家庭でもステンレスやセラミックス製品の需要が増え、市場は縮小傾向にある。

一方で和包丁は海外で注目を集めている。堺では11年に食品に関連した伝統・地場産品の海外販売を支援する組織「堺食産品海外セールス実行委員会」を設置。堺商工会議所や堺市産業振興センター、堺刃物商工業協同組合連合会(堺市堺区)の加盟企業などで構成し、海外に対するアピールを強めている。毎年、海外展示会にも出展し、日本食とセットで海外需要の喚起を狙う。

堺市ではこうした海外への販路開拓支援を力強く推進し、後継者難など課題の多い刃物産業の活性化に取り組む。さらに市内観光スポットの一つになっている「堺伝統産業会館(堺市堺区)」では、さまざまな堺打刃物を展示、販売。高品質製品の魅力を継続して発信している。

ワイヤロープ

南大阪・泉南地域は国内有数のワイヤロープ産地だ。貝塚市や泉佐野市を中心にメーカーが数多く集まる。ワイヤロープが使われる分野はクレーンやエレベーター、ロープウエー、造船など多岐に渡る。吊り橋などの構造物、土木建築などにも利用され、国土開発においても重要な役割を担っている。

近年は多聞に漏れず、ワイヤロープ業界も海外製品の流入に苦しんでいる。特に中国や韓国、台湾から入ってくる製品との競争は激しさを増す。こうしたアジア諸国の製品に対し、国内メーカー各社は新製品の開発に力を注いでいる。作業時の扱いやすさを考慮し、ロープにしなやかさを与えた製品など高機能製品を投入することによって新規ユーザーの獲得を目指している。

さらにターゲットを絞った製品展開や、品質保証やアフターサービスなどソフト面の強化、短納期化など、日本のメーカーらしい使う立場に立った事業展開を前面に押し出している。ユーザーに寄り添うメーカーの姿勢を鮮明にして海外製品に反転攻勢をかけている。

タオル

泉州地域のタオルは製織後に漂白や染色を施す「後ざらし」と呼ばれる技術を採用する。製織前に漂白・染色する他地域の「先ざらし」の方が意匠性は高いが、泉州タオルは高い吸水性など機能に優れ、独自の魅力をアピールする。

大阪府泉佐野市は国産タオル発祥の地として歴史的に知られる。1887年(明20)に佐野村(現泉佐野市)の白木綿業者、里井圓治郎氏が織物表面の糸を輪状に織り込んだパイル地製織法の開発に成功。以来、タオル生産が盛んになったという。この後、泉南市など南部にも生産業者が集まり、全国でも有数の地場産業へと成長した。

国産タオルは高品質だが、国内流通の大半は今や中国製などの安価な海外製品で占められている。こうした海外製品に対抗し、国内産業を振興するため、大阪タオル工業組合(大阪府泉佐野市)は泉州産タオルを「泉州こだわタオル」としてブランド化。タオルマフラーなど新たなジャンルの製品開発を活発化する一方、展示会を積極的に開いて新たな消費者層を取り込む戦略を強化している。

自転車

堺市は自転車の一大生産地だ。自転車はドイツで生まれ、江戸時代末期に日本に伝わった。明治期に国産化が進み、国内の需要も拡大。そこに第1次世界大戦が勃発した。欧州との交易がストップし、堺では機械金属の加工技術を受け継ぐ鉄砲かじ職人たちが自転車の修理や部品の供給に力を発揮。ここから堺市内に自転車の生産拠点が形成されていった。

これまで幾度かのブームを経てきた自転車だが、今また人気が高まっている。通勤や通学、買い物といった日常的な移動手段だけでなく、観光ツール、健康ツールとして需要が増加。省エネ、排ガス抑制など環境負荷の軽減にも寄与することから自転車道路など行政によるインフラ整備も各地で進み、利用促進の枠組みが広がっている。

産能的には低価格な中国製品が国産品を圧倒し、国内メーカーは苦境に立つ。しかし堺の自転車メーカーはパンクしないタイヤを採用した自転車(ノーパンク自転車)を開発するなど高付加価値製品で対抗している。

また自転車を重要な地場産業と位置づける堺市は通勤・通学用の自転車を提供する「さかいコミュニティサイクル」事業などを展開。自転車道整備にも力を入れているほか、自転車の安全・安心な利用を促進するための条例も整備している。

線香

線香も堺の地場産業の一つだ。業界を代表する老舗メーカーが堺市内に拠点を置く。日本における線香の生産は16世紀末ごろに始まった。中世の貿易港として栄えた堺は原料が入手しやすく、京都や奈良について寺院が多かったという背景もあって線香の生産が盛んになった。

堺の線香は楠(たぶ)の皮に沈香や白檀など天然素材を粉末にして15〜20種を調合して作り上げる。生産量は第2次世界大戦前に全国シェアの約60%にまで拡大。しかし空襲によって打撃を受け、トップの座を明け渡した。それでも先鞭(せんべん)をつけた土地柄だけあって、堺には創業100年を超える線香メーカーが多くある。

長い歴史を持つ業界だが、近年は新しい動きがある。コーヒーの香りを取り入れた線香やアロマセラピー向け線香などを開発し、新市場開拓に力を入れる。さらに米国やアジアなど海外市場の開拓に乗り出そうという企業も出てきている。

経営者の世代交代が進み、ブランド力を生かした協業などにも積極的になり出している。堺の線香産業は古さと新しさを掛け合わせて、攻めに転じている。

ASAHI 提案シリーズ

特殊環境 Environment

安全 Safety

省エネ Eco



旭精工株式会社
〒593-8324 大阪府堺市南区東横町6丁570番地
TEL (072) 271-1221 FAX (072) 273-0058
URL: <http://www.asahiseiko.co.jp>

- 東京支社 TEL (03) 3471-9441
- 名古屋支社 TEL (052) 211-3001
- 大阪支社 TEL (06) 6583-3731
- 西日本支社 TEL (093) 551-3081
- 北日本支店 TEL (022) 283-1431
- 広島支店 TEL (082) 244-2730
- 福岡営業所 TEL (094) 344-6388
- 名古屋営業所 TEL (094) 350-5886
- 関西営業所 TEL (067) 466-9888

JAF 高機能設計・小ロット特殊形ボールベアリング

株式会社 藤野鉄工所

本社・工場 〒590-0941 堺市堺区材木町西3丁1-36

創業文化二年

堺刃物

株式会社 和泉利器製作所

本社営業所 〒590-0934 堺市堺区九間町東1丁1-5 ☎072(23)0888
資 料 課 〒590-0927 堺市堺区桜之町西2丁1-11 ☎072(23)0293
金物町工場 〒590-0927 堺市堺区桜之町西2丁23 ☎072(23)0293
鍛造工場 〒592-8352 堺市西区鍛冶浜寺町西2 ☎072(26)0168
<http://www.sakai-tohji.co.jp/>

近代技術の粋…



写真は 鍛造ダマスカス
ペライプ 135mm 三徳包丁 180mm

〒590-0937 堺市堺区宿屋町西1丁2-21
☎072(228)3335 FAX072(228)3352
E-mail: yh@yamawaki-hamono.co.jp

浪速製鋼株式会社

NANIWA'S WIRE/ROPE

www.naniwa-wire.co.jp



〒597-0051 大阪府貝塚市王子450番地
☎072(431)5781 FAX072(431)5783

浪速製鋼株式会社

純銀の糸「ミューファン®」使用 大阪泉州産製

がーせのたおる

発売元 東産業
有限会社 東産業
大阪府貝塚市王子682 TEL (072) 431-3811
FAX (072) 431-4641
製造元 **山野タオル工場**

99% 99% 99%

大阪泉州 販売代理店

和染片面タオル 神藤織物株式会社

泉州産地の伝統技法である「防染」を現代的に蘇らせた。

〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野7192
TEL 072-467-2026 (代) FAX 072-467-1938

製造元 **山野タオル工場**

綿100%、お風呂用に特化したボディタオル

愛着国情

あいちやくこせい

製造元 **山野タオル工場**

発売元 神藤織物株式会社
大阪府泉佐野市日根野7192
TEL 072-467-2026 (代) FAX 072-467-1938
有限会社 東産業
大阪府貝塚市王子682
TEL 072-431-3811 FAX 072-431-4641

あらゆる部分品をつくる
<http://www.k-n-k.co.jp>
E-mail: knk@k-n-k.co.jp



絹川ネジ

絹川ネジ工業株式会社
〒590-0006 大阪府堺市堺区錦線町2丁2番11号
☎(072)238-5001代・FAX (072)238-5003

堺の自転車

タケタ自転車 SINCE 1947

自転車のまち堺から

武田自転車株式会社
〒590-0943 大阪府堺市堺区東之町東2-2-8
TEL 072-238-8401 FAX 072-228-1178
ホームページ <http://www.takedabicycle.co.jp>

人と地球にやさしい自転車をご愛用ください。

名香 **薫** 翠

安政年間復刻版

悠久の時世を超えて
安政の香り
今ここに蘇る

創業享保年間 **興野晴明堂**
本社 〒590-0952 堺市堺区市之町東6丁2-15
TEL (072) 232-0405代 FAX (072) 233-7645

FYH 新ピロブロックベアリング登場



日本ピロブロック株式会社
本社工場 〒587-0022 大阪府堺市東区平尾2306
TEL 072-361-3750 FAX 072-361-4173
fyhbearings.com

堺の伝統産業が一堂に!!

堺伝統産業会館では刃物、線香、和ざらしゆかた、昆布、敷物(鍛造・だんつう)、自転車、縫機、和菓子などの製品を展示・販売しています。
また、月曜日に手織縮通(だんつう)、金曜日に包丁研ぎ、土・日曜日には和菓子や線香などの実演や製造工程を無料で見学することができるほか、包丁や鉄の研ぎ直しのサービス(有料、土・日は見学も可能)や定期的に包丁研ぎ方教室なども実施しています。実施日時など詳しくはホームページをご覧ください。
「イーモール堺」ではこれらの産品をネット販売しております。
ご自宅用から贈答用まで、ぜひご利用ください。

堺伝統産業会館
〒590-0941 堺市堺区材木町西1丁1-30
最寄駅: 阪堺線(砂国寺)下車
●開館時間 10:00~17:00
●休館日 無休(年末年始を除く)
●入館料 無料
お問い合わせ 代表 ☎072-227-1001
ショップ「堺いち」☎072-233-2211
ホームページ <http://www.sakaidensan.jp/>
イーモール堺 <http://www.emailsakai.com/>



堺打刃物 刀匠 一竿子忠綱 本舗

有限会社 永田刃物

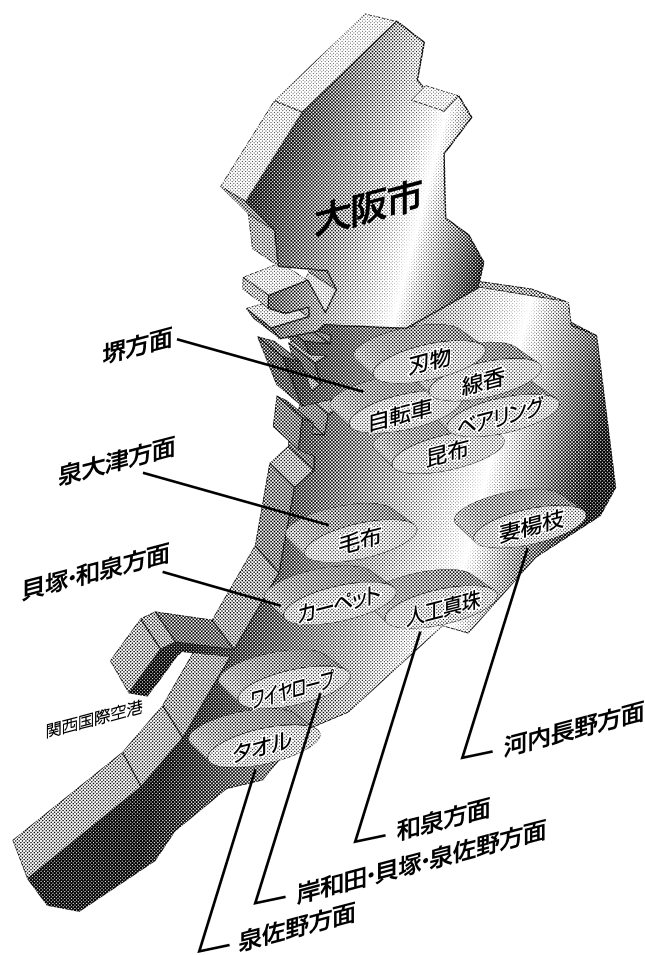
本社 〒590-0953 大阪府堺市堺区甲斐町東1丁1番4号
TEL 072 (232) 1132代 FAX 072 (222) 1948
工場 〒590-0930 大阪府堺市堺区柳之町西3丁8番3号

当社の熱プロセス技術は刃物鋼の品質向上に貢献しています
ISO 9001・14001認証取得 堺技研 認証0071
真空熱処理、イオン窒化処理、ワイヤ放電加工

八田工業株式会社 堺技研 認証0071

本社 〒599-8265 堺市中区八田西町2丁18番40号 TEL (072) 277-7227 代
<http://www.hatta.co.jp/> FAX (072) 277-8960

南大阪の 主な地場産業



歴史と品質で世界に誇る 南大阪の地場産業

香り雅やかな
日本の名香



創業三百有余年 **梅栄堂**
〒590-0943 堺市堺区市之町東1丁1番4号 ☎072(229)4545 FAX072(227)1672